



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院



倉敷中央病院の食育パーパス：



食を通じた予防医療と健康づくりを推進し、職員の健康と活躍を支えるとともに、地域とのつながりを育み、一人ひとりの生涯にわたる健やかな暮らしに貢献します。

倉敷中央病院の食育の取り組み：

当院では、職員食堂での健康啓発イベントやオープンホスピタルでの食育体験、健康フェア開催などを通じて、職員をはじめ、地域の皆さまとご家族へ食と健康の大切さを発信しています。

職員食堂にて

「減塩チャレンジ」イベント実施

健康診断で、血圧が高めの職員が増加していることが判明し、職員食堂で「減塩チャレンジ」を実施しました。減塩食の提供や展示を通じて、おいしく無理なく減塩に取り組むポイントを紹介し、日々の食生活を見直すきっかけづくりを行いました。



イベント後のアンケートでは、参加者の76.7%が「減塩への関心が高まった」と回答し、減塩に対する意識の向上がみられました。



地域の方・職員の家族向け

オープンホスピタル



オープンホスピタルでは、地域の皆さまやお子さまを対象に食育活動を行いました。食育クイズや栄養に関するアドバイスを通じて、楽しみながら食や健康への理解を深めていただきました。参加者には栄養士手作りの野菜入りカステラをプレゼントし、食への興味や関心を育む機会となりました。



健康フェア

毎年3月に当院附属予防医療プラザ（健診施設）で開催される健康フェアで、地域の皆さまや職員のご家族を対象にベジチェック®測定などを行っています。管理栄養士が測定結果をもとに、野菜を無理なく取り入れるコツや日常生活での工夫を紹介し、食生活や健康について楽しく考えていただく機会となりました。

